

駒澤会だより

第31号

令和元年7月26日
駒澤大学駒澤会 発行

涓滴岩を穿つ

学長 長谷部 八朗
(駒澤会名誉副会長)



本年5月、30年余に及んだ「平成」時代を承けて、新元号「令和」の時代がスタートしました。万葉集「梅花の歌」の一文「初春の令月にして、気淑く風和ぎ」が典拠とされ、首相官邸は、この元号に、春の訪れを告げ咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが希望の花を咲かせることのできる日本でありたいとの願いを込めた、と述べています。

こうした経緯により幕を開けた「令和」の時代と歩みをほぼ一にする形で、4月から新たな年度が始まりました。駒澤大学も、多くの入学生を迎え入れ、キャンパスに活気が溢れるなか、新学期が動き出しました。貴会を含む諸方面からのご芳志のお陰を以て完成し、昨年度より運用を開始した130周年記念棟の高層棟(種月館)が、正課授業はもとより、個人・グループによる自習、憩い・談話、食事などさまざまな場面を包括した学生のキャンパス・ライフの拠点としての役割を果たしています。さらに低層棟の方も先般落慶の運びとなり、授業に加え大学生活のもう一つの柱であるサークル活動の環境整備が進捗します。

駒澤会さまの設立は昭和46年3月と聞いておりますので、ほぼ半世紀にわたる活動の歴史を重ねられたわけです。そして、会員親睦を図りつつ、学生への奨学金支給により大学の発展に資するという結成の趣旨に則った運営を続けて来られました。毎年、受給生から感謝の言葉が事務局に寄せられていますが、初志を一貫されてきた貴会の姿勢には常々敬服いたしております。古諺の説く「けんてきいわ涓滴岩を穿つうが」の教えのように、浄財の給付という設立時以来の篤志を今日まで実践された結果、実に多くの学生がその恩恵に浴し、社会に巣立つことができました。

言うまでもなく、大学に課せられた主要な使命は、未来社会を担う人材を育成・輩出することにあります。「令和」時代の幕開けに際し、関係各位のお力添えの下、かかる使命を改めて見据えつつ、大学運営の歩を進める所存です。よろしくごお願い申し上げます。

令和元年度 駒澤会委員総会・懇親会

開催報告

広報部・山本久美子



令和元年 5月18日（土）午後1時より、駒澤大学深沢校舎講義室2-1において、駒澤大学駒澤会委員総会が、役員、会員23名が出席する中、開催されました。

初めに、駒澤会森屋会長からのご挨拶、続いて駒澤会名誉副会長である駒澤大学長谷部学長よりご挨拶があり「他大学にはないユニークな駒澤会、大学において終始変わらない学生への思い、役割、援助に感謝している。」とのお言葉をいただきました。

その後、森屋会長が議長となり、議事に入りました。

【審議事項】

1. 平成30年度各部活動報告の件
総務部・堀副部長、広報部・荒井部長、厚生部・滝沢部長より、それぞれ報告。
2. 平成30年度決算及び基金管理状況報告の件 三崎副会長より報告。
3. 会計監査報告の件 市川監査より、収支状況は適正であると報告。
以上、第1号から第3号議案は、拍手をもって承認されました。
4. 令和元年度各部活動計画の件
総務部・堀副部長、広報部・齋藤副部長、厚生部・滝沢部長より、それぞれ説明。
5. 令和元年度予算案の件 三崎副会長から説明。
以上、第4・5号議案は、満場一致で滞りなく承認されました。

【報告事項】

事務局から、[令和元年度駒澤会年間行事予定、駒澤会入会者数・奨学金について] 日幡さんより報告。以上、すべての議案は承認され、閉会しました。



[長谷部八朗学長よりご挨拶]



[参加された会員の皆さま]

委員総会後は、洋館小ホールにおいて、懇親会が開かれました。教育後援会の方々も参加され、親睦を深めた楽しい会になりました。懇親会に参加された方より、嬉しいことに当日入会して下さった方もいらっしゃいました。これからも入会される方が増え、益々発展していくことを願っています。



[森屋会長よりご挨拶]



[見晴らしの良い小ホール]



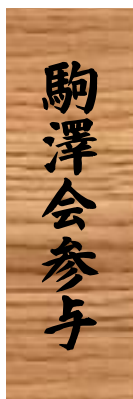
[教育後援会の皆さま]



[庭園にて記念写真]

- 駒澤会新役員のご紹介 -

今年度、新たに参与にご就任いただきました。どうぞよろしくお願いいたします。



田中弥生教育後援会会長



細谷牧子教育後援会副会長

懐かしさと大学の輝き願う一夜に
～駒澤会 新年賀詞交歓会に参加して～

駒澤会・両 角 晃 一



立春も過ぎ、暦上は旧正月を祝う趣となった「駒澤会 新年賀詞交換会」が、去る2月9日夕、渋谷のセルリアンタワー東急ホテルで開かれました。

この日、都内にも雪の予報が出るあいにくの天候で、高層階に集まった参加者から「例年、窓から美しい夕日が見えるのに……」と残念そうな声。

会には、駒澤会をはじめ教育後援会、大学当局の方々ら約40人が参加し、会場はとても和やかな雰囲気になりました。

冒頭、池田魯参総長、長谷部八朗学長からご挨拶をいただきました。先生方は大学院や学部の入学選考等でご多忙な中、駆けつけてくださいました。ご挨拶で印象深かったのは、学長の危機意識でした。

18歳人口の減少で大学淘汰の時代が進む中、本学も生き残りをかけて改革を進めていくという。キーワードは「学生ファースト」（学生あっての大学という意）。昨春、開校130周年記念棟として完成させた「種月館」もその柱の一つ。最新の学びの環境は羨ましい限りです。

ちなみに「種月館」が建った場所には、かつて「パオ」という小さい喫茶店があり、45年ほど前、私が授業の合間に入り浸った店です。

この日の会は、そんな懐かしい感慨とともに、若い後輩たちのためにも駒大ブランドの一層の“輝き”を願う一夜になりました。



[森屋会長のご挨拶]



[右から四番目が両角さん]

「駒澤会新年賀詞交歓会に参加して」

教育後援会会長・田中 弥生
(駒澤会参与)



小雪舞い散る厳寒の平成31年2月9日(土)、渋谷の「セルリアンタワー東急ホテル」にて駒澤会新年賀詞交歓会が開催され、大学からは池田魯参総長、長谷部八朗学長をはじめ多くの方々が参加され、私共教育後援会も執行部全員が参加させていただきました。

会では、皆様と美味しいフランス料理のフルコースに舌鼓を打ち、ビンゴ大会で盛り上がり、会場内はとても和やかな雰囲気、楽しいひと時を過ごすことができました。これもひとえに駒澤会の皆様のお心遣いのおかげと感謝しております。

「駒澤大学」がご縁で皆様方と出会い、交流を深めさせていただく中で私自身も「駒澤会」「同窓会」「教育後援会」という三本の柱が大学をより一層支えていくことの大切さをあらためて感じましたし、今後の活動を更に頑張っていこうと思いました。

これからも駒澤会の皆様の益々のご発展とご活躍をお祈りいたします。



[池田総長のご挨拶]



[ビンゴ大会の豪華景品]



[教育後援会役員の方々]



[記念の集合写真]

箱根駅伝応援会に参加して

総務部副部長・堀 純一郎



毎年応援している箱根駅伝。2019年も1月3日、復路にて応援しました。場所は、大手町のゴールから数百メートル手前にある常磐橋あたり。駒澤会からは森屋会長はじめ山田総務部長、滝沢厚生部長、吉備総務部委員、松田素子さんほか有志数名が駆けつけました。

教育後援会との合同での応援となってから今回が3回目。総勢100人以上の大集団での応援となりました。大人数だと盛り上がります。早い方は場所取りや幟の準備もあり、13時ごろのゴールよりも数時間前に集合。インターネットやワンセグでの実況中継を見聞きしながら、駒大の順位や動向はもちろん世間話にも花が咲きました。最近の大学のこと、予選会でも一緒に応援したこと、各自の子供の様子、自分の健康のことなど、教育後援会の皆さんとも会話が弾む中で、駒大もゴールを迎えました。

箱根駅伝は今回が第95回。思い返せば、昨年、駒大は総合12位でシード権を失い、今回は我々も応援に出向いた予選会をトップで通過し本戦に臨みました。結果は総合4位で、10位以内に与えられるシード権を見事獲得しました。沿道の声援が選手にも届いたことと思います。復活！駒大です。

俄然、応援後の慰労会も盛り上がりました。教育後援会との合同で、和気あいあい。2013年の復路優勝以来、遠ざかっている優勝を祈念するとともに、駒澤会に入会してくれる人が増えることを願いつつ、教育後援会の皆さんとも親睦を深めることができました。



[前列中央が堀総務部副部長]



[選手への大声援が飛び交います]

卒業式での新規会員勧誘活動

広報部副部長・齋藤 和子



キャンパス内の桜がほころび始めた3月22、23日の両日、駒澤大学平成30年度学位記授与式が行われました。私たち駒澤会メンバーは2日間に渡り種月館ロビーにてご来場のご父母の方々に、駒澤会の入会案内を配布致しました。皆さま快くご案内のプリントを受け取ってくださり、興味を持っていただけたかなという印象を受けました。

私達がエレベーター前で配布を行っていたところ、エレベーターをおりていらした上品な初老のご婦人が、「孫や甥がお世話になり、その都度卒業式に参加していますが、答辞を聞くと思わず涙が溢れてきますね。」とお声を掛けてくださいました。此処にも長い間、駒澤大学を愛して、応援されている方がいらっしゃる！

このような出会いは全て色即是空。この世の中は全てご縁で繋がっているのだと思わずにはいられない出来事でした。



[卒業生のご父母へ案内を配布]



[特設ブースにて]



新規会員勧誘のお願い



駒澤会は学生への奨学金支給を継続するため、入会勧誘活動を継続しております。しかし、近年は入会者が減少しており、収支において支出超過が続いております。会員皆様のお近くに駒澤会に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、駒澤会までご一報くださいますようお願いいたします。

皆さまへの勧誘活動へのご協力、何卒お願いいたします。

【事務局】TEL : 03-3418-9189

「旭日中綬章 受章祝賀会」のご報告



2019年4月24日、浅草ビューホテル4F 飛翔の間にて、わが駒澤会の副会長である一戸隆男氏の旭日中綬章受賞祝賀会が盛大に開催されました。出席者は寛仁親王妃信子殿下はじめ、全国ビルメンテナンス協会名誉会長・狩野伸彌氏、講道館館長・上村春樹氏、拓殖大学理事長・福田勝幸氏、参議院議員・橋本聖子氏ほかそうそうたるメンバー、総勢342名。駒澤会からは森屋会長はじめ大勢が出席するとともに、駒澤大学から池田総長、長谷部学長もご臨席。池田総長からはご来賓としての祝辞もありました。

国家、公共に多大な貢献があった方々を顕彰する春と秋の叙勲は、70歳以上であることが条件。一戸氏が勲章を受章されたのは2018年11月3日。なんとこの日が一戸氏70歳の誕生日だったそうです。

ご来賓祝辞の中で衆議院議員の伊吹文明氏からは、「今回の受賞は、全国ビルメンテナンス協会の会長として、すべての住環境、生活環境を整備し国民が暮らしやすい環境を作ることにご貢献してこられたことが高く評価されたもの。業界のステータスが認められたということです。外国人労働者を受け入れるためにビル管理法を改正するに至ったのも一戸氏の多大な貢献があったから。後ろ指を指されることが一切なかったからこそ受賞されたわけで、人生の誇りにされたし」との話がありました。



[盛大に鏡開き]



[社員より記念品の贈呈]

スライドショー上映では、幼少のころから運動神経に優れ、鎌倉学園、拓殖大学で学び柔道で鍛え上げた肉体と精神力を裏付ける数々の写真が紹介されました。奥様である千恵子さんとの出会いや、二人三脚で始めた会社が発展・拡大していく様子も流され、若かりしころから今までのご苦労やお人柄を知ることができ、胸が熱くなる思いでした。

豪華な料理に、藤間蘭翔さんによる祝舞や北野里沙さんによる歌唱が会を盛り上げ、お子さんやお孫さんからの祝福もあり、和やかな雰囲気の中で出席者全員が感動を持ち帰ることができました。これほどまでに慶びに満ちあふれた会に出席する機会をいただいたのも一戸氏との出会いがあればこそ。駒澤会、一戸氏とのご縁に感謝いたします。

(文・撮影 総務部副部長・堀 純一郎)



[藤間蘭翔さん]



[北野里沙さん]



[お孫さんと]

- 大学近況報告 -

駒澤会事務局より、大学の近況をお知らせします。5月より「令和」という新しい元号に変わり、キャンパスの雰囲気も凛と引き締まったように感じます。今年度も新たにおよそ3,400人の新入生を迎え、キャンパスは日々賑わっております。そんな中、去る5月24日、昨年度より共用開始となった開校130周年記念棟「種月館」と駒沢公園との間に『緑の丘テラス』が誕生しました。1階建ての建物で、1階には主に「音楽系」や「ダンス系」「演劇系」などのサークルが利用できる「スタジオ（スタジオSEED、スタジオMOON）」と大災害に備えて十分な備蓄品を格納する「防災倉庫」が入ります。屋上部にはウッドデッキ調のテラスがオープン。隣接する駒沢公園の木々を通り抜ける風を浴びながらリフレッシュできる空間が誕生です。



[緑の丘テラス]

初夏の親睦会に参加して

広報部部长・荒井喜久子



「初夏の親睦会」が令和元年6月8日（土）に開催されました。「江戸川橋駅」に集合し、江戸川沿いの綺麗に舗装された遊歩道を歩きながら、まずは「肥後細川庭園」へ散策に向かいました。美しく手入れされた日本庭園はとても立派で、季節を彩る草花がいきいきとしていました。園内には由緒ある貯蔵物が置かれている「永青文庫」があり、細川家代々に伝わる素晴らしい品々が展示されていました。横山大観の作品もありました。

その後、ホテル「椿山荘」へと場所を移し、こちらもまた立派な庭園にて三重塔や羅漢石、幽すい池などの名スポットを見物し、19時よりお待ちかねの「ほたるのタベ ディナービュッフェ」の開会です。バイキングの食事を参加した会員それぞれに親睦を深めながら楽しみました。教育後援会を卒業し、駒澤会に入会された2名も参加し、「とても楽しい会です。また何かあれば参加します。」と初夏の親睦会を楽しんでいました。その後、外はすっかり暗くなり、いよいよホテルの鑑賞です。椿山荘大庭園の池のほとりにたくさんのホテルが美しい光を放ち、私たちに喜ばせてくれました。今年のはじめてのホテルはとても綺麗で、感動しました。



[細川庭園の全景]



[天気もよく笑顔も映えます]



[森屋会長のご挨拶]



[最後は集合写真♪]

- 駒澤会奨学金の給付について -

令和元年度、下記のとおり成績優秀者への学業奨励を目的として奨学金が支給されました。

支給金額 : 総額 400 万円 (20 万円×20 名)
 授与式 : 令和元年 5 月 29 日 (水)
 出席者 : 長谷部学長、森屋会長、赤堀副会長、
 齋藤広報部副部長



※奨学生採用者の声は、「駒澤会だより第 32 号」および駒澤会 HP にてお知らせします。

- 基金管理委員会からのお知らせ -

基金管理委員会より、前回会報にてご報告した以降の運用状況について、以下のとおりお知らせ致します。

運用先	12月～7月までの利金	備考
野村証券	82,146円	みずほ・三菱UFJ社債
みずほ銀行	1,210円	定期預金利息
世田谷信用金庫	7,638円	定期預金利息
合計	90,994円	

基金管理委員会 委員長

- 各部入部のお誘い -

駒澤会会員の皆さまに、駒澤会の運営に携わる各部への入部をお誘いしています。

会の運営は、以下の3つの部に分かれて活動しています。2～3ヶ月に1度ほどのペースで会議を行っています。

ぜひ一緒に、駒澤会の活動を盛り上げましょう！入部をお待ちしております。

希望される場合は、駒澤会事務局・日幡（ヒバタ）までご連絡ください。

TEL:03-3418-9189/FAX:03-3418-9190

総務部	駒澤会の規程や運営費について検討し、活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。
広報部	会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、様々な意見を出し合い和やかに進めています。
厚生部	会員の皆さまが楽しく有意義な時間を過ごせるよう、各種行事を検討しています。

- 入会者ご芳名 -

駒澤会にご入会いただき誠にありがとうございます。新規会員の皆様のご芳名を掲載させていただきます。今回は平成30年12月1日から令和元6月末日までの期間にご入会いただいた方を掲載します。なお、掲載の同意が確認できなかった方は匿名とさせていただきます。

馬淵 伸吾 様	森川由起子 様	小畑 征克 様	後藤 三明 様
小倉 隆 様	木本 綾子 様	服部 裕子 様	田崎慶太郎 様
片岡 成元 様	棚瀬 幸則 様	小林 優一 様	増田 滋 様
山口 永倫 様	石川美乃利 様	匿名 6名	

編集後記

“壇密”という中高年の男性に大層人気のある女優は才媛で文章も良くします。彼女の書いたものに「これは！」と思うものがあつたので紹介し、編集後記に代えさせていただこうと思います。敬虔な仏教徒が多きとあるアジアの国では高齢者の生活を手助けすることで「功德になる」という考え方がある。功德を積めば幸福が訪れる・・・そんな考えから介護の仕事は皆前向きに勤めるようだ。その「幸福」のやってくるタイミングが今世でも来世でもこだわらないようで「いずれ訪れるでしょう」と朗らかに構えている様子を知る。「いつかのために」の思想と解釈が、国民一人一人の心に備わっている姿を見て自分の欲深さを恥じた。「いつか」が見えなくなっている自分が、来世の自分を苦しめるだろう。いかがですか？ 私には大いに考えさせられた一文でした。

広報部副部長 村田保廣

事務局からのお知らせ

【大学行事予定】	【駒澤会行事予定】
8/1～9/15 夏季休業期間	10/5～6 秋の研修会(★)
9/16 後期授業開始	10/19 役員会
10/15 第137回開校記念日	12/14 忘年会
11/2・3 オータムフェスティバル	(★)は案内を同封しております。

駒澤大学
駒澤会



駒澤会だより 第31号

発行日：令和元年 7月26日

発行者：駒澤大学駒澤会 広報部

〒154-8525 世田谷区駒沢 1-23-1

TEL：03-3418-9189/FAX：03-3418-9190